

予防接種

予防接種は、感染症などの病気に対し免疫を作って予防するためのものです。予防接種の効果と副作用を十分理解し、体調の良いときに受けましょう。予防票は8ページ記載の取扱医療機関にあります。また、以下の内容が今後変更となった場合は、広報小田原、市ホームページ等でお知らせします。

子どもの予防接種

- お子さんの出生後にお渡しする冊子「予防接種と子どもの健康」を必ず読んで、お子さんの体調が良いときに受けましょう。
- 予防接種は、以下の対象年齢内であれば、8ページ記載の取扱医療機関で、市の費用負担(無料)で接種できます。取扱医療機関にあらかじめお問い合わせのうえ、母子健康手帳を忘れずにお持ちください。

～予防接種の計画を立てましょう～

■：標準的な接種年齢
 □：法律で定められている対象年齢
 (期間中はいつでも接種できますが、それぞれの予防接種の目的)から標準的な接種年齢を■を目安として示してあります。

ワクチン名	年齢	接種回数等
B型肝炎	生後から 1歳未満	3回接種 (1回目から27日以上あけて2回目、更に1回目から139日以上あけて3回目を接種)
BCG(結核予防)	生後から 1歳未満	1回接種
Hib(ヒブ)	生後2か月から 5歳未満	標準的接種(生後2か月～7か月未満に接種開始)の場合、次のとおり4回接種 (初回接種(①②③):27日～56日の間隔で生後12か月未満の間に3回接種 追加接種(④):初回の3回目終了後、7～13か月までの間隔をあけて1回接種)
小児の肺炎球菌	生後2か月から 5歳未満	標準的接種(生後2か月～7か月未満に接種開始)の場合、次のとおり4回接種 (初回接種(①②③):生後12か月までに27日以上の間隔を置いて3回接種 追加接種(④):初回の3回目終了後、60日以上あけて、生後12～15か月未満で1回接種)
四種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ)	生後3か月から 7歳6か月未満	4回接種 (初回接種(①②③):20日～56日間隔で3回接種 追加接種(④):初回の3回目終了後12～18か月までの間隔をあけて1回接種)
麻しん・風しん(はしか)	1歳から2歳未満 [1期] ① [2期] ② 平成25年4月2日～平成26年4月1日生	各期1回接種 (第1期:1歳になったら早めに1回接種 第2期:小学校就学前の1年間(4月1日から3月31日まで)に1回接種)
水痘(みずぼうそう)	1歳から 3歳未満	2回接種 (生後12か月～15か月未満で1回接種し、6～12か月までの間隔をあけて1回接種)
日本脳炎	平成19年4月2日以降の生まれの方 平成11年4月2日～平成19年4月1日生まれの方	4回接種 (標準的な間隔 1期初回(①②):6日～28日間隔で2回接種 1期追加(③):1期初回の2回目接種後、おおむね1年おいて1回接種 2期(④):9歳以上13歳未満で1回接種)
二種混合(ジフテリア・破傷風)	11歳以上 13歳未満	1回接種
HPV(子宮頸がん)(ヒトパピローウイルス感染症) ※女性のみ対象	小学6年生から 高校1年生相当まで 平成15年4月2日～平成20年4月1日生	3回接種 (2回目:ワクチンの種類により、1回目の接種から1か月後または2か月後 3回目:1回目の接種から6か月後)

注:対象年齢の解釈 「～未満」は、「～の前日まで」 例:「5歳未満」は「5歳の誕生日の前日まで」

高齢者の予防接種

次の予防接種については、8ページ記載の取扱医療機関で、市の助成を受けて接種できます。

ワクチン名	対象者	接種期間	自己負担金	接種回数
高齢者の肺炎球菌	今までに高齢者肺炎球菌ワクチンの接種を受けたことがないかたで、かつ、次の1～2のいずれかに該当するかた 1. 2020年3月31日時点で、65・70・75・80・85・90・95・100・101歳以上になるかた ※対象者に、4月上旬に接種券を送付します。接種券を紛失した場合や他市町村から転入し未接種の場合は、保健センターまでご連絡ください。 2. 接種日現在60歳から65歳未満で、心臓やじん臓、呼吸器等に重い障がいのあるかた(身体障害者手帳1級程度)	4月1日から2020年3月31日まで	3,000円	1回
高齢者のインフルエンザ	1. 接種日現在65歳以上のかた 2. 接種日現在60歳から65歳未満で、心臓やじん臓、呼吸器等に重い障がいのあるかた(身体障害者手帳1級程度)	10月から2020年2月末まで	あり	1回

大人の風しん予防接種

- 妊婦が妊娠初期に風しんウイルスに感染すると出生児に先天性風しん症候群を引き起こす恐れがあります。妊娠を予定または希望している女性やそのパートナー、妊娠している女性のパートナーに対し風しん予防接種の費用の一部を助成します。
- 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性に対し抗体検査と予防接種の費用助成制度を新たに開始しました。※助成の対象者や助成金額等、詳しくは市ホームページまたは保健センターへご確認ください。

ほかの予防接種との間隔のあけ方

- 十分な効果を得るために、ほかの予防接種を受けるときは下のとおり必要な間隔をあけてください。

生ワクチン	BCG、水痘(みずぼうそう)、麻しん、風しん、おたふくかぜ、麻しん風しん混合(MR)、ロタウイルス	27日(4週間)以上おく
不活化ワクチン	B型肝炎、ヒブ、肺炎球菌、四種混合、不活化ポリオ、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん予防、インフルエンザ、三種混合	6日(1週間)以上おく

次の
予防接種